

BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN

名古屋大会から始まるもの



2004.3.8

International Women's Day

Vol.76

[特集]

第39回日本BPW連合会総会
『名古屋大会』

CONTENTS

巻頭メッセージ

名古屋大会から始まるもの
名古屋クラブ会長 福田道子

名古屋大会特集

- ・総会セレモニー
- ・BPWパートナーシップエバリュエーション
- ・基調講演要旨
- ・ワークショップ報告
- ・第39回日本BPW連合会総会報告
- ・財務委員会からの報告

会議報告

- 2003年第2回拡大役員会報告
- 2003年第2回評議会報告
- 2003年第7回役員会報告

会報35号掲載広告ご協力一覧

事務局日誌 = 連合会動静

日本BPW連合会ニュースレター

発行人：平松昌子 広報委員会編集

日本BPW連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=info@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com



BPW 名古屋クラブ会長
福田道子

第39回日本BPW連合会名古屋大会・総会が2004年2月21日(土)~22日(日)、名古屋市内において開催され、盛会のうちに無事終了することができました。開催に至るまで、本部役員・事務局の皆様には、より良い大会・総会が開催できるよう、数々のご助言をいただきましてありがとうございました。当日は、北は札幌から、南は長崎まで、会員の皆様が大勢ご参加くださいましたこと、厚くお礼申し上げます。

第1日目の大会は、まず、石田好江・愛知淑徳大学教授/ジェンダー・女性学研究所所長による「日本の働く女性たち~世界の中で~」と題する基調講演で始まり、本年度のサブテーマである「職場・社会における平和実現を目指し、働く女性としての行動を」にふさわしい内容となりました。続いて、4つのテーマに分かれてのワークショップ、さらに、ヤングのみなさんによるスピーチコンテストが催されました。セレモニーでは、愛知県知事・神田真秋氏と名古屋市長・松原武久氏に対してパートナーシップエバリュエーションを表明し、これを機に、さらに男女が共に、真に人間らしく生き、働くことが出来る社会の実現への機運が高まっていくことを期待したいと考えます。

この名古屋大会では、記念すべきことが3つありました。第1は、初めてのヤングスピーチコンテストが連合会の実行委員会により開催された事です。全国5ブロックからの出場者の若々しく、ひたむきなスピーチは、私たち会員の心に、忘れかけていた青春と力強い血を蘇らせてくれました。第2は、国連CSW インターンに派遣される3名のうち、お二人が参加され、未来をみつめる抱負を聞かせていただきました。第3は、米沢アソシエーツの参加です。これらの新たな試みは、BPW だからこそ果たさねばならない役割として、これからのBPWに意義深く根付いていくことでしょう。ご参加くださった会員お一人おひとりの力により、名古屋大会から、新しい扉が開き、新しいBPWが始まったのです。

最後になりましたが、名古屋大会・総会の開催にあたりましては、地元中部ブロックの東海クラブ、愛知クラブ、岐阜クラブの暖かいご支援と力強いご協力をいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

BPW 連合会 第 3 9 回総会(名古屋大会) 報告

第 39 回日本 B P W 連合会名古屋大会が、2004 年 2 月 21 日～22 日に名古屋市の名古屋国際ホテルにおいて開催されました。2004 年統一テーマ“A World of Peace ～職場・社会における平和実現を目指し、働く女性としての行動を～”を掲げ、初日の基調講演・ワークショップ・ヤングスピーチコンテスト・セレモニー・懇親会という盛りだくさんのプログラムも、担当名古屋クラブのおかげでスムーズに進行し、また、B P W としては珍しい 20 代ヤングの方々の参加などで大いに盛り上がりました。2 日目の日本 BPW 連合会総会も、議事は全て議案通り承認採択されました。

名古屋大会セレモニー

歓迎あいさつ 名古屋クラブ会長 福田道子
会長あいさつ 連合会会長 平松昌子

インターナショナルナイト
・BPWI 会長メッセージ 代読：国際委員長 布柴靖枝
・点灯式
・International Collect ヤング委員長 ニノ宮寛子

パートナーシップ エバリュエーション発表
・紹介・受賞者あいさつ

BPW 友の会助成金贈呈 BPW 友の会会長 岩見壽子



点灯式（白・青・ピンクのキャンドルに点灯）

インターナショナルナイトとは・・・ 世界中の BPW の総会でされているセレモニーで、1930 年に BPWI を創立したアメリカのレナ・マジソン・フィリップ博士に始まる歴史と成果に思いを馳せ、世界中の国々で献身的に活動する女性たちの努力と希望を象徴するものとして、キャンドルに灯がともされます。世界中の仕事に生きる女性たちが集い、友情と思い出を分かち合い、互いの力を結集して、目標を達成するために、誓いを新たにしようというものです。



このセレモニーには、毎年、BPWI 会長からメッセージを送って頂き、会報（2003 年会報 No.35 p.2）に掲載しています。今年は、「21 世紀に、より強力なネットワークをつくるために活動しよう。…2005 年スイス・ルツェルンの kongress で会いましょう。」というものでした。今年は、International Collect（2003 年会報 No.35 p.2）をニノ宮ヤング委員長に原文（英語）で読んで頂きました。

左の写真は、岩見/BPW 友の会会長から平松/連合会会長へ、助成金（2004 年度は 440,000 円）目録が手渡されているところです。日本 BPW 連合会では、この 22 年間会費は一人 7000 円で据え置かれたまま、また、最近は会員数も減少傾向が著しく、活動資金難が続いています。これを応援すべく、BPWI にならない、元会員や先輩会員や外部の方々によって、友の会が結成され、毎年、資金を援助して頂いています。友の会のみなさま、いつもありがとうございます。

BPW パートナーシップ エバリュエーション 2004

BPW パートナーシップ エバリュエーションは、行政と NGO の協力関係を強化するため、行政が働く女性に関する政策にどう取り組んでいるかを BPW が評価し表明するものです。今年は、愛知県知事・神田真秋氏と名古屋市長・松原武久氏に対して表明されました。お二人のこれまでの実績を評価し、今後のより一層の男女共同参画社会推進を期待いたします。

愛知県知事 神田 真秋氏

名古屋市長 松原 武久氏



知事に就任当初から、男女共同参画に理解を示し、翌年には『県民による男女共同参画推進事業費補助金制度』を実施し、県民の男女共同参画社会の実現に向けての企画事業に資金面において力強い支援を実施するなどを評価します。



市長に就任以来、名古屋市の男女平等参画担当部署を市全体の総合調整機能を持つ総務局へ移管し、これまで以上に男女平等施策の強化推進をはかる等、積極的な位置付けへの姿勢などを高く評価します。

“日本の働く女性たち～世界の中で～”



第39回BPW連合会
名古屋大会 講演要旨

講師：石田 好江 氏
愛知淑徳大学教授
ジェンダー・女性学研究所所長

WS. 1

国際社会における日本女性

キーワード：GEM,男女共同参画,政策決定参加

グループワーク

テーマ1 日本のGEMを上位にするにはどうするか

・子育てにはやはり女性の力は必要だが、男女共に性別役割分担意識の刷り込みをしない。家事の分業化と家事ヘルパーのシステム整備が必要。働き方が多様に選択できる社会・職場を作る。国会等で女性議員を増やすために、クォータ制の導入も考える。若い人の社会教育の推進なども考えていく。

テーマ2 政策決定への参加を増やすには

・勇気・元気・陽気・したたかさ・行動力をもち、Yes/Noをはっきり言う。
 ・品良くアピールし、「グローバルな」視点をもち、人脈・情報をつかむ。
 ・クォータ制導入等の政策的バックアップを作る。
 ・体力をしっかりと維持し、自己投資する。
 ・後継者を育成する。

テーマ3 女性の高学歴化のためにはどうするか

・女性の勉強の障害：本人のやる気 家庭環境 社会の環境
 ・生まれたときからの育て方で本人の意思とかわりなく方向づけられる。家庭の中でまず、「女の子」だからといった考え方をしないようにする。アメリカでは学習の場が社会の人にも広く開かれている。日本でも、その方向に動きつつある。

テーマ4 伝統的役割分担を解消するにはどうするか

・志を強く高くし、一生やり続ける気概をもつ。
 ・介護と育児の社会化。
 ・家庭の差別の撤廃。
 ・社会の変化や状況を正しく捉え、自由・平等の真の意

コーディネーター：平松昌子（連合会会長）

助言者：石田好江（基調講演講師/助言）

記録者：中西幸子（東海）参加者：36名（会員34名）

味を浸透させる。

・女性の投票行動は「権利」ではなく「義務」感が中心。女性の意識はまだまだ変えていかななくてはならない状況であることを痛感している。

助言者コメント

GEMを低くしている最大の要因が、管理職と政治的意思決定の場面での女性の立場の弱さにある。女性管理職の少なさはチャンスがない点にある。この問題解決に加え、女性側の問題も考えていく必要がある。性別役割分担の刷り込み等、女性の「甘え」だけでは片づけられない状況も考慮にいれつつ考えていきたい。

提言（まとめ）

子育てについて：子供のときから、男と女の役割という刷り込みをやめる。母親が働くことは当たり前という意識をもたせる

教育の問題：男女で差別をしない。学校選びで「女の子だから～」という考え方をやめる。

政治の問題：家族を含め、日本社会の中に女性の政治行動への制約が強いので、機会・資金を含めてもっと支援をする。情報の交換が大切である。

審議会等の役員：クォータ制の採用も必要。

家庭の在り方：育児・介護に対して女性の役割ではなく、社会的責任を強調する。

後継者育成：若い人へのサポート体制をしっかりと考えていく。

女性が強い意志を持って活動するとともに、意志を持って活動する人に対してのサポート体制を形成していくことが必要である。

WS. 2

A World of Peace ~
平和な社会に向けて女性の果たす
役割~ キーワード：女性の人権

コーディネーター：木下弓子（名古屋）

指定発言：黒崎伸子（連合会副会長）

関谷玲香（UNCSW インターン）

記録者：加藤歌子（愛知）参加者：42名（会員38名）

コーディネーター趣旨説明

平和な社会に向けて、アジアの一員であるという視点を持ちながら、BPWおよび女性が貢献できることは何か、具体的行動の提案にまとめあげることが目的とする。

第1回グループワーク

テーマ：自分が思う世界平和とは何か、何が問題か。参加者を、7つのグループに分け、平和の定義を自分なりに考え、発言し、その後グループワークを行い、リーダーが報告した。

指定発言者の要旨

黒崎伸子：例えば、日本では開発対象として見向きもされない、結核やマラリヤ治療薬が、紛争後の発展途上国では必要とされるなど、その国にあった接し方が必要。

いろんな人がいていろんな選択肢があり、それが世界の中で認められるのが理想。医療は、医師だけではない。病院を作る人もいるし物資を運ぶ人もいる。東アジアサブリージョナルコーディネーターとして東アジアには、民族、宗教、言語の違ういろいろの



国があり価値観が違うが、話しあうことを続け、お互いの理解を深めることが大切である。

関谷玲香：平和とはあらゆる権利が実現できることと思う。外国人と交流機会があっても、それだけで理解することは難しく、平和は構築できない。強制力をもった政府レベルのものに参加する必要を感じた。それ

でBPWに応募して、2月末から開催の、国連の女性の地位委員会にインターンとして参加する予定である。

第2回グループワーク

前々回のバンクーバー कांग्रेसで、日本BPW連合会へ、カナダからつけつけられた従軍慰安婦問題への対処として提案した、メルボルン कांग्रेसの決議案（昨年の会報 No.34、60-61p 掲載内容）も来年スイスの कांग्रेसを控え、宿題として残っている。このことも踏まえ、女性として、またBPWとして、平和実現させるのか、何をやるべきかを提案するためのグループワークを行った。その結果が、以下の提案である。

政策の場へ代表を送る。女性議員を増やす。

男女共同参画をさらに強化させるため、地域の行政へ発言する。

国連活動に期待する。今回インターンに選ばれた、関谷さん達に期待する。

ジェンダーの視点をもった意識改革が必要。女性が

変わらないと男性も変わらない。

米国だけでなくアジアとの連携を進めたい。

女性が力をつけるための、クォータ制の導入。

真実の情報をとらえる目をもつ。一人一人のBPW会員が、平和の呼びかけをし、それをアジアへ、世界へ発信する。アジアの女性と手をつなぐ方法を考えていきたい。

BPWとして開発途上国へ医療・教育の援助をする。自立できるまで見届ける。

幼いころからの平和教育・ジェンダー教育を行う。

まとめ

緒方貞子氏は「平和をマクロで捉えるだけでなく、ミクロの視点から、足元の安心できる生活を積み重ねる作業が重要である」と語っている。私たちも、上記の課題を、BPWの活動と会員の生活の中で実現させたい。

WS.3

ヤングBPW ~ヤングがこれからのBPWに求めるもの~

キーワード：ヤングBPW、BPWI、家事との両立

コーディネーター：二ノ宮寛子（連合会YBPW委員長）

助言者：布柴靖枝（連合会国際委員長）

記録者：大橋有紀（名古屋）参加者：14名（会員13名）

コーディネーター趣旨説明

ヤング会員に集まってもらって、ヤング会員の発掘やヤング会員としてBPWで何ができるかを考えていきたい。

提言

BPWのPRをし、若い女性に入会してもらおう。

・海外では若い女性に向けてBPWがどのような活動をしているか、ヤングBPWとは何かということについてパンフレットやカードを作っている。これらの日本語版を作って、BPWに興味を持った女性に渡すことで、BPWの活動について知ってもらえるのではないかな。

ヤング会員の母数を増やす。

・まず各クラブでヤング会員を把握した上で、交流を深めていく。人数が少ないと活動しにくいこともあるので、IFBPWでは35歳までとなっている「ヤング」の年齢の上限を若干引き上げて、ヤング会員の母数を増やす。またはメンター制度を取り入れ、サポートを受けつつ活動する。

例会の持ち方など活動方法を工夫する。

・アンケートの結果、仕事が忙しくて例会に出られないという人が多かった。例会に出られなくてもインターネット上で同時に話をするなど工夫ができるのではないかな。BPWに入ってもらっただけでなく、継続して続けていけるような方法を考えていくことが必要である。

国内でのヤング会議を開催する。

・ヤング会員が集まって会議を行い交流を深めていくと同時に、公開講演会を行って会員増につなげていく。

ヨーロッパで始動した「イエローページ」を立ち上げる。

・BPWにはさまざまな分野のプロフェッショナルが在籍しているので、必要とされる講師をBPWから紹介できる検索システムを作ることで、若い女性をバックアップしていくことになるのではないかな。

総括

どの女性団体も高齢化して活動が停滞しているが、BPWはオピニオン・リーダーとして一目置かれている。先輩の築いた地位を消さないためには、BPWと



して全力で若い人たちを育てていく必要がある。

M字型就労の問題改善の取り組みと同時に、当会の活動方法も20代後半の女性が参加しやすい形にすることが必要である。成功した女性の集まりだと思われるしまうと、これまで男性が女性にしてきたことを女性が同じ女性に対してすることになってしまう。

若い女性に対しては、普段の生活では経験できないことがBPWで経験できるという魅力をアピールしていく必要がある。また、機会を与えることが若い女性を惹きつけるいちばんの魅力になる。経験が少ないために失敗することもあるが、そういうときに先輩たちの知恵でサポートしてもらえると、BPWに入っただけでよかったと思えるはずである。



WS.4 助言者：栗林さん（右）

WS. 4

働く女性の問題
 ~ 解決に向けてBPWは? ~
 キーワード: 年金・男女の賃金格差・女性の雇用

コーディネーター: 長田 洋子
 助言者: 栗林英子(東京)
 記録者: 森川幸江(岐阜) 参加者: 38名

各グループの報告

第1: 年金問題について

現行の年金制度は、男女役割分担を前提として設計されている。そこから派生する女性の年金問題について議論したい。

パートの厚生年金加入は、現状の経済状況からすると企業側にとっては困難である。すべての女性が国民年金に少なくとも加入し、個人年金権を確保すべき。

3号被保険者の問題については、働く女性との不均衡が大きく、廃止の方向にいくべき。

若者に年金の重要性を教育すべき。

定年後の働く場の提供と施策を考えるべき。

年金保険料積立金の使われ方を知らされるべき。

BPWとして、国会議員の高額年金に抗議する。

第2: 雇用における男女平等問題

募集から定年まで雇用の全ステージにおける不平等と、それを是正する方策を議論したい。

業界により差がある。現場の実態を調査・把握し現場での問題解決ができるような方策を考えるべき

女性が自己研鑽をして力をつける。(BPWがアサーティブトレーニングの機会を提供できる)

また、働く意識の教育をし、困難を乗り越える意識付けをすべき。その教育の機会の働きかけをすべき。

今は、転換期である。登用率を上げるだけでなく、質の向上をめざす。女性は多様化、男性は二極化しているの、細かい対応が求められる。

若い女性は自由なネットワークで情報交換やエンパワメントしているので、BPWがそのきっかけ作りをすることができる。

家事・育児の両立支援、ワークシェアリング、同一価値労働同一賃金などの施策化、充実をはたらきかける。

女性の働きやすい職場環境づくり等に貢献した企業の顕彰をする。

地域の企業との話し合いをする。

第39回日本BPW連合会総会報告

開催日: 2004年2月22日 於: 名古屋国際ホテル 担当: BPW名古屋クラブ 全体進行: 連合会事務局長佐藤道子

1. 開会宣言 連合会事務局長 佐藤道子
 定数 71、出席 65・委任状 6計 71 により、会則 7 条に基づき定員の 2/3 以上の出席を満了し総会成立

2. あいさつ 連合会会長 平松 昌子

3. 議長団選出・書記の指名
 議長団: 亀井とも子(名古屋) 原田 方子(名古屋)
 書記: 加藤 池華(名古屋) 山田 節子(名古屋)

議事

《第1号議案》議題の承認

事務局長より第8号議案 その他で選挙管理委員選任の報告及び第7号議案の規約改正を第3号議案終了後、第4号議案のまえに審議すること提案。拍手にて承認

《第2号議案》事業・活動報告 (会報 P8~14)

2003 年度事業報告 佐藤道子連合会事務局長
 企画委員会報告 土田アイ子企画委員長
 組織委員会報告 宮井三智子組織委員長
 広報委員会報告 黒崎伸子副会長兼広報委員長
 国際委員会報告 布柴靖枝国際委員長
 財務委員会報告 塩崎智子財務委員長
 ヤング BPW 委員会報告 二ノ宮寛子 YBPW 委員長
 今年から入れた評価について質問、黒崎副会長回答
報告後拍手にて承認

《第3号議案》2003 年度会計報告・会計監査報告 (会報 P16~17)

2003 年度会計報告 会計 高山 典子
 2003 年度会計監査報告 会計監査 山本ふき子
報告後拍手にて承認

《第7号議案》規約改正(案) (会報 P12)

連合会事務局長
 改正案 1 の 2 条の「発展」について質問があり、平松会長が BPW として独自に「発展」としたいと回答
賛成 71、反対 0 で可決

《第4号議案》2004 年度統一テーマ(案)・活動方針案(案)について(会報 P18)
 連合会会長 平松昌子

賛成 71、反対 0 で可決

《第5号議案》2003 年度事業計画案(案) (会報 P19)
 連合会事務局長 佐藤道子
 名簿の表示項目について意見があり、4月評議会で検討をしたいと回答

賛成 71、反対 0 で可決

《第6号議案》2004 年度予算(案) (会報 P20)
 連合会会計 高山典子
 予算の収入予定会員数が実際より多いとの質問があり、会計より「この人数でないと予算が成り立たない、会員増を願う」と回答

賛成 71、反対 0 で可決

《第8号議案》その他 選挙管理委員選任の報告
 次回総会(2005年2月26・27日仙台大会)にて選挙
 北海道・東北ブロック 大村 育子(青森 クラブ)
 関東・山梨ブロック 千葉 啓子(山梨 クラブ)
 中部 ブロック 森川 幸子(岐阜 クラブ)
 近畿 ブロック 宮崎 恭子(和歌山クラブ)
 西日本ブロック 加藤 英子(香川クラブ)
 拍手にて承認

議事終了 議長団解任

5. その他の連絡
 「米沢アソシエーツ紹介」
 「署名協力へのお願い」
 「ブロック委員の紹介」
 「出村前会長任期終了に伴う記念品贈呈」

6. 次期大会担当クラブ(仙台クラブ)への引継ぎと挨拶
 引継ぎ 名古屋クラブ 挨拶 仙台クラブ

7. 閉会のことは 連合会副会長 黒崎伸子

2003 年度第 2 回拡大役員会報告

日 時：2004 年 1 月 11 日（日）10：30～12：00

会 場：新宿ワシントンホテル新館

出席者：連合会役員・常任委員長・会計監査

議 題

1. 規約改正案について
2. 2003 年度事業報告/常任委員会活動報告・会計報告・会計監査報告
3. 2004 年度 統一テーマ（案）及び活動方針（案）
4. 2004 年度 事業計画（案）・予算（案）
議案 1～4 まで原案を了承
5. 他 前日の役員会で米沢アソシエーツ・個人会員（小早川氏）入会が承認された事を報告

2003 年度第 2 回評議会報告

日 時：2004 年 1 月 11 日（日）13：00～16：50

会 場：新宿ワシントンホテル新館

出席者：拡大役員・各クラブ会長（欠：神戸・堺クラブ）

議 題

1. 総会に提出関係文書の審議
 - 1) 規約改正案について
アソシエーツ会費が高すぎるとの意見も出たが、原案通り承認
 - 2) 2003 年度事業報告・常任委員会活動報告・会計報告・

会計監査報告...原案通り承認

- 3) 2004 年度 統一テーマ（案）及び活動方針（案）
- 4) 2004 年度 事業計画（案）・予算（案）...原案通り承認
2. 報告：広島クラブ 2003 年 12 月未付退会、米沢アソシエーツ・個人会員（小早川氏）入会報告
3. 連絡事項：選挙管理委員、ブロック委員選出について、クラブ役員変更報告について、名簿修正について
切：メール添付 2 月末（Word 提供）
名簿コピーに修正 2 月 22 日

2003 年度第 7 回役員会報告

日 時：2004 年 2 月 20 日（金）19：00～21：00

会 場：名古屋国際ホテル（愛知県）

出席者：出村・平松・木下・長田・佐藤・高山

（欠席：黒崎）

議 題

1. 第 39 回日本 B P W 連合会名古屋大会の最終確認
 - 1) 進行最終確認
 - 2) ワークショップ運営・報告体制の確認
2. 総会議事について
3. 署名協力要請について
総会の時間内に回覧することに決定
4. 選挙について

財務委員会報告

名古屋大会では、少しでも活動資金を捻出したいと、担当の名古屋クラブのご尽力で、物販を行いました。独自で物販を行った 5 クラブから、売上げの 20% をご寄付頂きました。また、連合会役員も雑貨等を宅配便で送ってバザーを行い、多くの会員にご購入頂き、いくらか収入をあげることができました。以下のように、収支をご報告致します。みなさま、ご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

< 収支 > 収入 160,530 - 支出 48,437 = **112,093 円**

< 収入内訳 >

新書「男女共同参画の時代」(810 円×58)	46,980 円
ブックレット「女性と復興支援」(500 円×20)	10,000 円
役員会バザー売上げ	61,230 円
財務物販 バッジ・名刺台紙	17,400 円
各クラブ物販からの寄付金	
札幌	3,500 円
仙台	7,420 円
山形	5,000 円
米沢	5,000 円
北九州	4,000 円
計	160,530 円

< 支出内訳 >

新書 (780 円×0.85×58 冊×1.05)	40,377 円
ブックレット (403 円×20 冊)	8,060 円
計	48,437 円

本の紹介 日本 BPW 連合会ベストメンが書いた！最新刊

岩波新書 『男女共同参画の時代』 鹿嶋 敬 著

非正規雇用、過労自殺、セクハラ、夫婦間暴力、そして「新・性別役割分業」「バックラッシュ」の動き...

男性中心型社会は変わるのか？

「男女共同参画論はすそ野が広いので、さまざまな分野からの切り込みが可能である。私の場合は新聞記者生活の大半を女性労働の取材に費やしてきたので、それを軸に据えながら男女共同参画という名の“箱”のふたを開けてみた。（中略）この箱は、災いを詰め込んだパンドラの箱ではない。詰め込まれていた品々の一つひとつが、多分この国が、新たな世紀を活力を失わずに生き抜くための必要不可欠な要素であり、あるいは改善すべき課題なのだ、と私は思う。」（「おわりに」より）

鹿嶋氏からのメッセージ：名古屋大会書籍販売にあたって今回の「男女共同参画の時代」は、新書としては三作目に当たります。新聞記者として三十余年、「男女」の問題を取材してきました。三部作全てのタイトルに「女」「男」という言葉を使用しているのは、その表れです。両者の関係が家庭や地域、企業でどうあればいいのか。それが、私がずっと追いかけてきたテーマです。そして「いい関係」を築く手掛かりが「男女共同参画社会の形成」だと思っています。最新作が議論を深める上で一助になれば幸いです。

BPW - CSW インターン NY 国連で奮闘中！（詳細は、ホームページ“最新情報”をご覧ください。）

3 月 1 日から始まった第 48 回国連女性の地位委員会。BPW-Japan が送り出したインターン 3 人の様子を伝えるメールが NY の布柴国際委員長より届きました。『ともかくワークショップでは何でもいいから発言してくること！』と平松会長はいきなりインターンに課題を出されました。この「お言葉」をうけてか、インターンは、実に積極的に参加しています。山のように渡される文書に目を通し、わからないところは 3 人で相談して情報交換をしています。同室になった NZ 政府の代表ともいろいろ情報交換をしていて頼もしいかぎりです。...』

事務局日誌 = 連合会動静

- 12月29日 事務処理・提出物催促 (T)
 <1月>
 4日 事務処理・提出物確認 (T)
 5日 事務処理・提出物確認 (N)
 7日 市川記念会賀詞交換会 (平松)
 8日 事務処理・提出物確認 (T)
 9日 事務処理・提出物確認・ニュース
 レターvol.7 4納品・仕分け (K)
 10日 第6回役員会 (16:00~20:00)
 於: 連合会事務局
 11日 第2回拡大役員会 10:30~12:00
 第2回評議会 13:00~16:50
 (新宿ワシントンホテル新館)
 欠席: 堺・神戸クラブ
 14日 国連 NGO 国内婦人委員会役員会
 16日 事務処理・提出物確認 (K・T)
 20日 事務処理・提出物確認 (T)
 21日 事務処理・提出物確認 (N)、国連
 NGO 国内婦人委員会・国連総会
 報告 (H)
 23日 事務処理・提出物確認 (K)
 28日 事務処理・提出物確認 (N)、
 国連総会・女子差別撤廃委員会・
 女性の地位委員会など説明をきく
 会 (総理府: H)
 30日 事務処理・提出物確認 (K)
 31日 提出物確認・催促 (S)
 <2月>
 2日 「アジア太平洋地域会議 (ネパー
 ル)」ご案内(速報)Eメールで発信
 国際婦人年連絡会・全体会 (H)
 4日 事務処理 (N)
 10日 事務処理・大会用ネームプレート名古
 屋クラブ送付 (K)
 11 - 18日 中東女性交流派遣団来日
 12日 連-103「2004年第1回評議会ご案内」
 Eメールで発信(郵送13日)
 14日 事務処理・提出物催促。名古屋大
 会関係資料・総会グッズ発送 (S)
 16日 連-104「男女共同参画社会の将来
 像検討会「報告書骨子案」につい
 ての意見募集」Eメールで発信
 17日 事務処理 (T)
 18日 事務処理 (N)、中東女性交流パレ
 スチナ代表江戸川区訪問 (平松・
 土田)
 20日 第7回連合会役員会 19-21:00
 /名古屋国際ホテル 欠席: 黒崎
 21日 事務処理 (K)
 21-22日 第39回日本 BPW 連合会名古
 屋大会・総会
 24日 会報35号全国発送 (T・K・N)
 25日 連-105「アジア太平洋地域会議ご
 案内」(詳細)Eメールで発信
 27日 事務処理 (T)
 第48回「国連女性の地位委員
 会」NY参加のため出発(平松・
 布柴)インターンとは現地合流。

会報 No.35 広告掲載一覧

ご協力ありがとうございました

クラブ	掲載広告名	枠	金額
札幌	札幌クラブ発足 30 周年記念出版本	2W	30,000
旭川	BPW 旭川クラブ	2W	30,000
苫小牧	BPW 苫小牧クラブ	2W	30,000
青森	BPW 青森クラブ	2W	30,000
秋田	BPW 秋田クラブ	2W	30,000
仙台	BPW 仙台クラブ	1P	80,000
	DICT 統合カウンセリング研究所	1P	
山形	BPW 山形クラブ	2W	30,000
東京	サリダ・アド	1P	195,000
	シグマ工房	1W	
	細川民族舞踏研究会	1P	
	プチポワン	1W	
	栗林社会保険労務士事務所	1W	
	千葉プリント企画	1W	
	タカギ	1P	
	お好み焼き つばさ	1w	
武蔵野	BPW 武蔵野クラブ	2W	30,000
関東	BPW 関東クラブ会員一同	2W	30,000
山梨	BPW 山梨クラブ	2W	30,000
名古屋	BPW 名古屋クラブ	2W	100,000
	名古屋国際ホテル	表2	
東海	BPW 東海クラブ	1P	55,000
	高野医院	1W	
愛知	愛知万博	1P	40,000
岐阜	BPW 岐阜クラブ	2W	30,000
京都	京都クラブ会員一同	2W	45,000
	安立整形外科	1W	
大阪	BPW 大阪クラブ	2W	30,000
堺	BPW 堺クラブ	2W	30,000
関西	BPW 関西クラブ	2W	30,000
神戸	BPW 神戸クラブ	2W	30,000
和歌山	有限会社マグネット	1W	60,000
	(有) ウインドミルコーポレーション	1W	
	BPW 和歌山クラブ	2W	
広島	2004 年ひろしまから	2W	30,000
香川	BPW 香川クラブ	2W	100,000
	全日空ホテルクレメント高松	表3	
福岡	BPW 福岡クラブ	2W	30,000
北九州	BPW 北九州クラブ	2W	30,000
長崎	BPW ながさきクラブ	2W	60,000
	CASAMIA	1W	
	女性議員をふやそう・ながさき	1W	

連合会会計からお知らせ

会報広告費振込先: 郵便局 口座記号 10130 番号 43754401
 口座名義 日本 BPW 連合会 高山 典子
 連合会会費振込先: みずほ銀行 新橋支店 普通預金 1306469
 口座名義 日本 BPW 連合会 会計 高山 典子

編集後記 名古屋大会は巻頭のことばにもあるように、ヤングによる新風が吹き荒れました。みなさん、いかがでしたか。この予想以上の反響だったスピーチコンテストについては、その感動を早く全国に伝えようと、大会終了後1週間で、名古屋大会ヤング特集 Vol.75 を発行しました。今回は、普段は参加できない会員の方々にも、年1回の総会の様子が伝わるように、大会第1日目のセレモニーの様子、その他の模様を報告しました。大会の成功は名古屋クラブの皆様の準備とご活躍、そしてご協力頂いた全国の会員の皆様おかげです。ありがとうございました。(黒崎)